

平成25年度再評価対象事業一覧表
(対象: 平成20年度再評価実施事業)

(再評価実施後、一定期間(5~10年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト縮減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課題)
	再評価時点 H20	川添川 総合流域防災事業 事業主体: 県 事業地: 武雄市	流下断面の確保を実施、治水安全度を向上し、流域の浸水被害の軽減を図る。 計画流量 100m ³ /s 計画治水安全度 1/50	全体事業費: C=22.3億円 工期: S54~H26 改修延長: L=1,600m 計画流量: 100m ³ /s 計画治水安全度: 1/50 事業内容: 掘削・護岸、樋管8基、橋梁7基、堰3基	国道34号より下流については完了している。現在、国道橋改築に関する調整を進めている。 丁后橋他5基完成 堰2基完成 (H19末進捗率 87%) (年平均進捗率 3.0%)	(過去の災害実績) H2.7 浸水戸数 593戸 農地浸水面積 110ha (地域の状況) 上流部において、市街地化が進んでいる。 また、六角川合流点の排水機場(Q=23m ³ /s)が完成した。	現在(B/C) 1.4		再評価実施後5年が経過	継続
	現時点 H25	川添川 河川整備交付金事業 (社会资本整備総合交付金: 総合流域防災事業)	前回評価時より工期を延長した。 全体事業費: C=22.3億円 工期: S54~H31 改修延長: L=1,600m 計画流量: 100m ³ /s 計画治水安全度: 1/50 事業内容: 掘削・護岸、樋管8基、橋梁7基、堰3基	国道34号より下流については完了している。現在、国道橋改築に関する調整を進めている。 丁后橋他5基完成 堰2基完成 (H24末進捗率 87%) (年平均進捗率 2.6%)	(過去の災害実績) 同上 (地域の状況) 上流部において、住家や事業所の増加が見られる。 周辺に国道34号バイパス(国事業)が建設中。	最新のマニュアルに基づき、費用対効果を算出した。 ・再生材の積極的利用 ・建設副産物の有効利用 ・総便益 (一般資産被害額・農作物被害額・公共土木施設等被害額等) B=8,320百万円 ・総費用額 C=6,239百万円 ・現在(B/C) 1.3	・再生材の積極的利用 ・建設副産物の有効利用 ・総便益 (一般資産被害額・農作物被害額・公共土木施設等被害額等) B=8,320百万円 ・総費用額 C=6,239百万円 ・現在(B/C) 1.3	再評価実施後5年が経過	平成2年洪水被害を軽減するため、流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、地域住民の安心・安全を確保するためには、当事業の継続が必要である。	
	理由等	平成22年度より補助金が社会资本整備総合交付金化されたため	・H21出水にて破堤した他河川への集中投資に伴い、事業進度を抑えていたことによる工期延長。							

